

2006年度 生理学研究所研究会

Neuro-glio-vascular interaction におけるプリン作動性シグナリングの病態生理的機能

日時: 2006年 9月 7日(木)12:10 ~ 8日(金) 15:10

場所: 自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター中会議室

12:10 ~ 12:20 **開会のあいさつ**

セッション1 (座長: 中塚 映政・山下 勝幸)

- 12:20 ~ 12:50 血管内皮細胞のATP分解酵素活性におよぼす炎症性サイトカインの影響
松岡 功 (高崎健康福祉大・薬・薬効解析)
- 12:50 ~ 13:20 血管周皮細胞(ペリサイト)・ATP/P2受容体シグナルを介したアストロサイトー毛細血管連関・
藤下 加代子 (国立医薬品食品衛生研究所・薬理)
- 13:20 ~ 13:50 カルシウムストアに存在するBKチャネルによるカルシウム放出の制御
山下 勝幸 (奈良県立医大・医・生理)
- 13:50 ~ 14:20 新規 P2X スプライシングバリエーションを用いたサブユニット相互作用の解析
輿水 崇鏡 (京都大・薬・ゲノム創薬科学)
- 14:20 ~ 14:50 細胞膜上におけるP2X4受容体の動態の1分子ビデオイメージング解析
小林 剛 (名古屋大・医・細胞生物物理)

14:50 ~ 15:10 休憩

シンポジウムグリア細胞活性化の可視化と分子機構解析 (座長: 井上 和秀・南 雅文)

- 15:10 ~ 15:50 神経・グリア機能解析のための分子イメージング研究
渡辺 恭良 (理化学研究所分子イメージング研究プログラム)
- 15:50 ~ 16:20 分子イメージングによる脳虚血病態のニューロン・グリア機能解析
久下 裕司 (京都大・薬・放射性薬品化学)
- 16:20 ~ 16:50 神経伝達物質受容体リガンドの論理的設計とその薬理活性
周東 智 (北海道大・薬・創薬有機化学)
- 16:50 ~ 17:20 個体レベルでのニューロン・グリア機能解析に資するイメージング法の開発
永井 健治 (北海道大・電子研)
- 17:20 ~ 17:50 2光子顕微鏡を用いたin vivoグリア細胞のカルシウム動態解析
高田 則雄 (理研・脳科学センター)
- 17:50 ~ 18:20 ATPによるミクログリア突起運動調節
- 脳スライス培養を用いたリアルタイムイメージングによる解析 -
南 雅文 (北海道大・薬・薬理学)

18:50 ~ 20:30 懇親会

セッション2 (座長: 加藤 総夫・津田 誠)

- 8:50 ~ 9:20 脊髄ミクログリアにおけるグルタミン酸トランスポーター機能制御に対する ATP受容体の役割
森岡 徳光 (広島大・歯・歯科薬理)
- 9:20 ~ 9:50 脊髄内P2X2/3受容体を介した長期持続性アロディニアの誘導および維持におけるグリア細胞の役割
中川 貴之 (京都大・薬・生体機能解析)
- 9:50 ~ 10:20 ミクログリアP2X4受容体の発現における細胞内情報伝達機構
津田 誠 (九州大・薬・薬効解析)
- 10:20 ~ 10:50 細胞外ATPの脊髄前角細胞へ及ぼす影響について
中塚 映政 (佐賀大・医・神経生理)
- 10:50 ~ 11:20 シナプス前プリン受容体の発現機能連関解析・シナプス前分子の in vivo gene silencing -
加藤 総夫 (東京慈恵医大・総合医科学研究センター・神経生理)

11:20 ~ 12:20 ポスター討論 (前日より掲示)

12:20 ~ 13:00 昼食

セッション3 (座長: 尾松 万里子・松岡 功)

- 13:00 ~ 13:30 P2X受容体を介したマウス網膜における経路特異的な応答の修飾
金田 誠 (慶応大・医・生理)
- 13:30 ~ 14:00 アデノシンA3受容体ヒト化マウスの作製と評価
佐藤 光男 (協和発酵工業(株)・医薬研究センター)
- 14:00 ~ 14:30 T細胞の分化・成熟によるP2X7受容体活性の変動
原田 均 (静岡県立大・薬・衛生・分子毒性)
- 14:30 ~ 15:00 受容体刺激によるPIP2減少とIP3増大の測定法の開発
- PH-GFPの代替として -
尾松 万里子 (滋賀医科大・細胞生理)

15:00 ~ 15:10 閉会のあいさつ

ポスター発表 (9月8日(金)11:20 ~ 12:20)

- P1. 孤束核シナプス前P2X受容体によるシナプス伝達制御 ~ laser photolysis法を用いた時間空間限局的ATP投与 ~
井村 泰子 (東京慈恵医大・総合医科学研究センター・神経生理)
- P2. 中枢シナプス前A1受容体のin-vivo遺伝子ノックダウン
繁富 英治 (東京慈恵医大・総合医科学研究センター・神経生理)
- P3. アデノシンA1受容体によるラット海馬スライス内興奮伝播制御
関野 祐子 (東京大・医科学研・神経ネットワーク)
- P4. Neurotransmitters involved in thermosensation
Sravan Mandadi (生理研・岡崎統合バイオサイエンスセンター・細胞生理)
- P5. FM1-43 a vital dye used to detect P2X4 channel activity
Fernando Lopez-Redondo (科学技術振興機構・細胞力覚プロジェクト)
- P6. ミクログリアのP2X4受容体発現制御におけるフィブロネクチンの作用解
豊満 笑加 (九州大・薬・薬効解析)
- P7. 難治性疼痛におけるATP受容体を介した細胞質型ホスホリパーゼA2の活性化
長谷川 茂雄 (九州大・薬・薬効解析)
- P8. $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体のホスホリパーゼC活性化を介したミクログリアの機能調節
濱 千紘 (広島大・薬・薬効解析)
- P9. 細胞外ATPによる海馬アストロサイト自発的カルシウム・オシレーションの頻度調節
川村 将仁 (東京慈恵医大・薬理)
- P10. OGD-induced ATP release via maxi-anion channels in mouse astrocytes
Hontao Liu (生理研)
- P11. 乳腺組織サンプルからの機械刺激によるATP放出
古家 喜四夫 (科学技術振興機構・細胞力覚プロジェクト)
- P12. 血管周皮細胞(ペリサイト) -ATP/P2受容体シグナルを介したマトリックスメタロプロテアーゼ放出-
末石 浩二 (国立医薬品食品衛生研究所・薬理)
- P13. ケラチノサイトHaCaT細胞におけるP2Y受容体を介したインターロイキン6産生機構の解析
小林 大策 (東北大・薬・細胞情報薬学)
- P14. ATPおよびNADによる細胞死誘導機構の相違

前畑 真知子（静岡県立大・薬・衛生・分子毒性）

P15. デオキシグルコースに依存したMDCK細胞へのアデニンヌクレオチドの取り込み
右田 啓介（福岡大・医・薬理）

P16. マウス脳内のアデニル酸シクラーゼの内因性阻害物質 3'-AMP の産生酵素系の基礎的
検討
藤森 廣幸（摂南大・薬・衛生分析化学）